

心和得天真

～心和して天真を得る～



山口市立大歳小学校
学校だより
令和8年6月

みんなが主役 力を合わせて 走り抜け

5月23日(土)に、いよいよ大歳小学校運動会が行われます。学校では本番に向け、毎日子どもたちが練習に励んでいます。

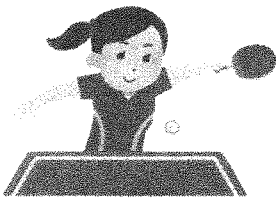
今年のスローガンは、『みんなが主役 力を合わせて 走り抜け』です。この言葉には、「子どもたち一人ひとりが、自分のもっている力を一杯出して輝いてほしい」、「仲間と力を合わせて最後まであきらめずに全力でゴールを目指してほしい」、そして、「全員が『やりきった!』』と思える運動会になってほしい」という熱い願いが込められています。



本番当日にこのスローガンを達成できるよう、今、練習をがんばっているところです。走ったり、演技をしたりする姿はもちろん、入場や応援など、あらゆる場面で一生懸命に打ち込み、成長していく子どもたちの姿をご覧ください。自分を信じ、仲間を認め合い、最後にはみんなが笑顔になれる運動会にしていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

「その先へ ～地元山口から世界へ、支え続けた親として～」



5月9日、山口市PTA連合会総会にて、本市出身の元五輪卓球選手・石川佳純さんのお母様である石川久美氏の講演会が行われました。「家族の支え」をテーマに、世界で活躍する我が子をどう見守ってこられたか、貴重なお話を伺いました。

3大会連続で五輪メダルを獲得した佳純選手ですが、その裏には壮絶なプレッシャーや苦悩があったそうです。東京五輪の過酷な選考レースでは、妹の梨良さんが専属サポート役として寄り添いました。お母様はこれを「妹の大きな決断」と振り返り、家族が常にそばにいたことこそが大きな支えになったと語られました。

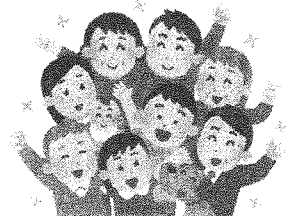
講演の中で、お母様が子育てで大切にされてきた以下の4つのポイントが、強く心に残りました。

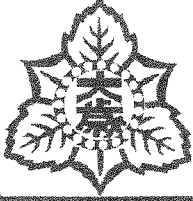
- 子どもを他人や兄弟と比較せず、昨日の自分自身からの成長を認めていく。
- 少し頑張れば届く目標をもち、小さな成功体験を積ませる。
- 結果ではなく、「過程(プロセス)」を褒め、自信とやる気を育てる。
- 子どもの夢を応援し、実現に向けて一緒に考え、情報を集める。



「子どもが苦しいときは、親も苦しい。けれど、成長を信じ、一緒に乗り越えた先に、本当の喜びがある」というお言葉は、深く心に響きました。苦しいときも子どもの可能性を信じ、共に乗り越える姿勢は、学校にも家庭にも共通する教育の原点だと感じました。

子どもたちの「夢」や「挑戦」を支えるのは、一番身近にいる大人の温かい眼差しです。子どもは、自分を信じてくれる大人がいるから、一歩前へ踏み出せます。学校、家庭、そして地域の皆様が「ひとつのチーム」となり、大歳の子どもたち一人ひとりの小さな成長を見逃さず、しっかり認め、励まし合っていくことで、未来の可能性を育ててまいりましょう。





心と得天真

～心として天真を得る～



山口市立大歳小学校
学校だより
令和8年5月

チャレンジ目標『お・お・と・し』

新年度がスタートして、あっという間に1ヶ月が過ぎました。校庭に子どもたちの元気な笑い声が響き、教室では友達と学び合う姿が見られるなど、新しい学級での確かな「絆」を感じる今日この頃です。

5月は、生き物も草花も、1年で最も活力にあふれる季節です。大歳小の子どもたちも、新しい教室、新しい友達、新しい先生に少しずつ慣れ、新緑の運動場を元気いっぱい駆け回っています。子どもたちは今、新しい土壌にしっかりと根を張り始めているところです。



さて、本校では、子どもたちの自立を促すために、3つの『チャレンジ目標』を掲げています。

チャレンジ目標 **おお** 大きな声で 明るいあいさつ 廊下では会釈
一人ひとりが **と** 時計をみて 行動
みんなのために **し** 静かに すみずみまで そうじ

これは、鴻南中学校校区で共通の取組です。(合い言葉は異なります)

『大きな声で 明るいあいさつ 廊下では会釈』

昨年度の、学校評価アンケート(1月実施)では、「あいさつをよくしている」と肯定的な回答の割合が、保護者は81%、児童は84%でした。あいさつは、自分も、相手も心地よくし、良好な人間関係を築く最高のツールです。生活委員会の活動や地域・中学生との合同あいさつ運動を通して、大歳地域全体にあいさつの輪を広げていきたいと考えています。



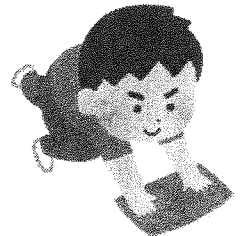
『時計をみて行動』

本校では、授業開始・終了時のチャイムを最低限にしています。これにより、子どもたちは自ら時計を見て「今、何をすべきか」を判断する習慣を身につけています。昨年度は、児童主体の代表委員会で、「ノーチャイムデー」を企画・実施するなど、主体的な動きも見られました。



『静かにすみずみまでそうじ』

「黙働」の取組は、本校の誇れる取組の一つです。「黙って掃き清め、床を磨き、自分と向き合う」ことの徹底は、一朝一夕にできることではありません。これまでの先輩たちが行ってきたよき伝統を、しっかり引き継ぎ、取り組んでまいりたいと思います。



学校では、様々な場面で、このチャレンジ目標を意識できるように声かけをしています。新学年がスタートして少しずつ慣れてきた今だからこそ、改めて目標をしっかりと意識して取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様や地域の皆様も、来校された際には、子どもたちの様子をご覧いただき、温かい声をかけていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

そして、5月23日にはいよいよ運動会が開催されます。子どもたちは、本番に向け、思い出に残る運動会にするために、これから一生懸命練習に励み、準備をしていきます。運動会は本番当日だけでなく、過程が大事です。練習を通して、努力の尊さや仲間と力を合わせる喜びを学び、大きく成長してくれるはず。そして、本番当日は、子どもたちのひたむきな姿が、皆様に元気と明日への希望をお届けできることを願っています。

子どもたちが、毎日を笑顔で過ごすことができるよう、教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 門岡 裕二